

令和元年11月27日

施設課作成

## 第22回はだのクリーンセンター環境運営委員会議事録要旨

### 1 日時

令和元年11月15日(金)午前10時00分から11時00分頃まで

### 2 場所

秦野市伊勢原市環境衛生組合 はだのクリーンセンター3階小会議室

### 3 出席者

- (1) 委員(9名)
- (2) オブザーバー(1名) 公務都合により1名欠席
- (3) 事務局(5名)

### 4 内容

#### (1) はだのクリーンセンターにおける各種実績データについて

ア 令和元年度中の10月までの可燃ごみの搬入量、焼却量、焼却灰搬出量、各種測定結果(排ガス、放射能濃度、周辺環境)を報告すると共に、各種測定結果については、全て基準値を下回る良好な数値であったことを説明した。また、ごみ搬入量、焼却量、焼却灰搬出量については、はだのクリーンセンター及び伊勢原清掃工場それぞれの合計を記すことと変更した旨説明した。【事務局】

イ 一日あたりの搬入量に比べ焼却量が多くなっているが、なぜこのような差が発生しているのか。【委員】

⇒ 搬入量の日当たりの平均数量を算出するために使用した日数(約184日)よりも、焼却量の平均数量を算出するために、使用した日数162日の方が、分母が小さくなるため、全体が同等程度の数量であっても、測定結果に差が生じるものである。【事務局】

⇒ 計算上も問題ないものと思われる。【委員】

ウ 焼却量が搬入量に比べ多くなっていることについて、これは可燃ごみ以外のものも燃やしているのではないか。【委員】

⇒ そういった事実はないものと捉えている。【事務局】

## (2) その他

### ア 非常放送訓練・伝達訓練の実施について

(ア) 1月に非常放送訓練及び伝達訓練を実施するため、御協力をお願いしたい。なお、非常用放送訓練は、クリーンセンターのスピーカーの作動状況確認のため、伝達訓練は緊急時の各所管への連絡確認のため、実施することを説明した。【事務局】

(イ) 令和元年7月に停電が発生したが、これは平成30年4月に起きたものと全く同じ原因（電線上にカラスが営巣し、地絡が発生したものと考えられる。）で発生している。安全確認のため、立下げ後、点検し、通常稼働させた。また、排ガス中の有害物質の濃度についても、問題が発生していないことを確認したことを説明した。【事務局】

### イ ごみ減量状況の報告

(ア) 秦野市のごみの減量状況について、平成30年度の実績、令和元年度の9月までの実績でも、計画値よりも順調に減量している。各種施策と市民の方々の協力により減量が進んでいるが、特に草木類資源化による分別効果が減量に大きく寄与しており、伊勢原市と協調し、伊勢原市でも草木類の資源化を行うこととなった。

また、古紙類の回収については、紙袋を公民館等に置き、必要な方に配布していくこととしている。古紙やシュレッターにかける紙類については、ホチキスが付いたままで問題なく対応できる。なお、ティッシュペーパーの箱の窓部分もそのまま資源化できるようになっている。（分別ガイド記載済み。）【委員】

(イ) ここで言うことではないかもしれないが、最近不法投棄が多くなっている。何か呼びかける等対策はないか。【委員】

⇒ 注意喚起のラミネート標示等を作成するので、活用いただきたい。【委員】

⇒ 決められた場所以外の、ごみ収集ステーションへごみを捨てるケースも非常に多い。「不法投棄は犯罪です」というような、強い注意喚起の看板等を準備いただきたいところだがどのようなか。【委員】

⇒ 地域の方が捨てているような場合は、犯罪とまではいかないと考

えられる。後日相談いただき、個別に対応したい。【委員】

⇒ 酷いケースでは、ステーションではない場所に、ホイール付の古タイヤが捨ててあるケースもあった。不法投棄発見次第司法連絡等の注意喚起標示をしたいと考えている。【委員】

⇒ 警察の名前を出すと効果が高まるケースもある。来年度の予算にはなってしまうが、行政でも対応していきたい。【委員】

(ウ) 先日の台風15号及び19号の災害ごみは持ち込まれているか。

【委員】

⇒ 19号の際は、秦野市で数件、災害ごみの発生があり、市で許可をし、クリーンセンターにも搬入している。【委員】

(エ) 最初にあった1日当たりの搬入量と焼却量の若干の差があることで議論となったが、長い期間では、同じ量になるということを事前に説明できていれば、更に理解が進みやすかったと思う。【オブザーバー】

⇒ 事務局には、長い期間で総合して確認できるような資料作成をお願いしたい。【委員】